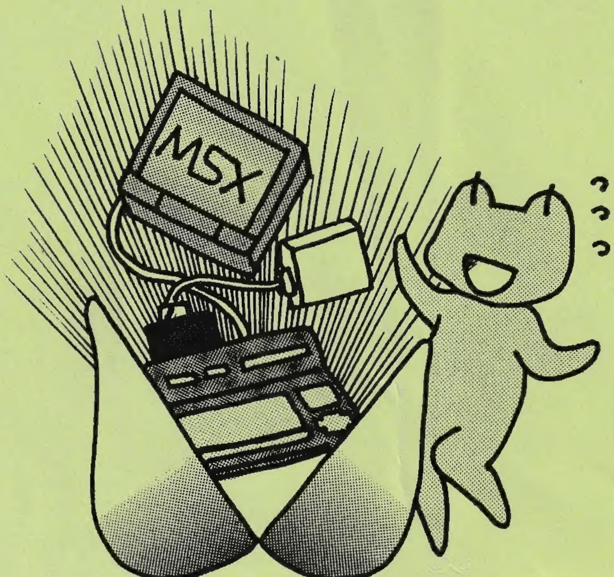
MEGA-SCSI童話

カエルくん



登場人物

カエルくん：いちおう主人公。カエルに似てる。パソコンに関してはペーペー。

マウジィ：ストーリーテラー。ドイツ生まれのぬいぐるみ。

おにいさん：カエルくんのおにいさん。

犬子さん：カエルくんのお友達。

T川くん：似非職人工房のおにいさん。細い。

T郎くん：似非職人工房のおにいさん。



その他：電気店の店員①・②・③・④。☆さん。MSXな人々。ほか。

※随所でカエルくんとマウジィの人格が混ざっていますがご了承を。

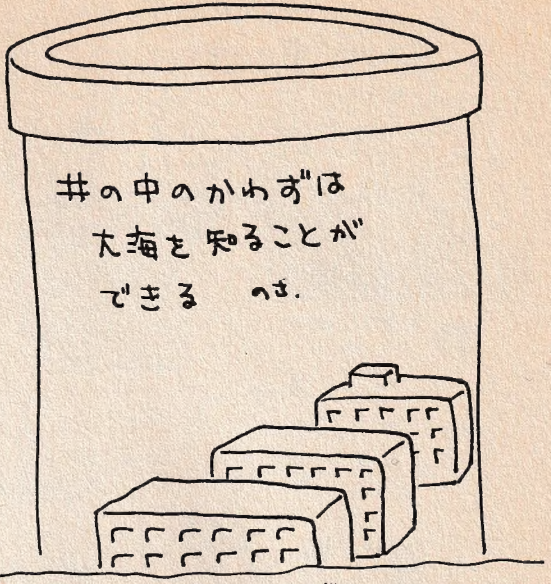
序章　～出会い～

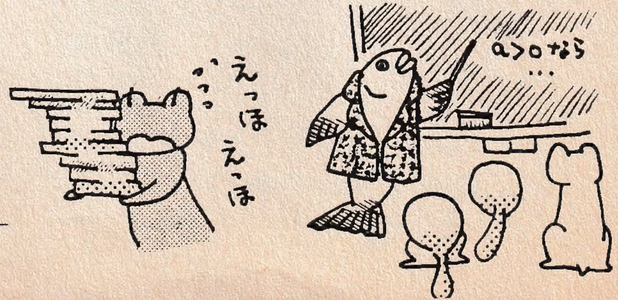
ある井戸の中にカエルくんが勤めていました。井戸の中には魚さんたちや、古代生物シーラカンスや、足が生えかけのおたまじゃくしちゃんや、すでに大人になったカエルくん（でもおたまじゃくしのふりをしている）たちがいました。

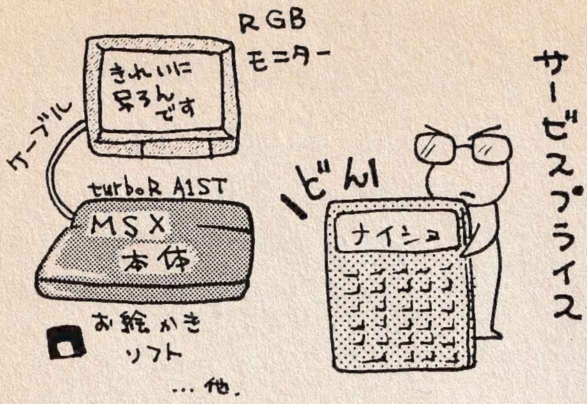
ある日のこと、カエルくんは１人のおにいさんに声をかけられました。

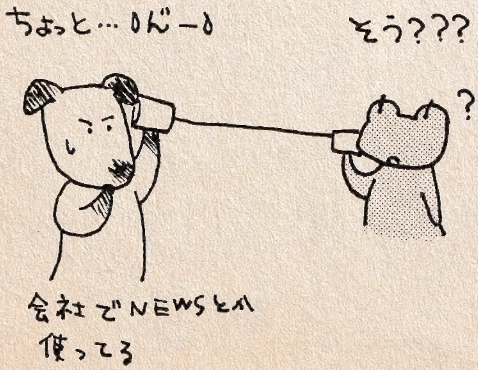
「あのー、ＭＳＸやってみませんかね？」

◸おにいさんは別に白雪姫に出てくる魔女ってかんじでもないし、なんだか信用してもだいじょうぶそうだし。うーん。おにいさんがいつも話してくれるＭＳＸのお話はなんだか









楽しいし…⊿カエルくんはその年のうちにおにいさんにＭＳＸを譲ってもらってＭＳＸを始めることに決めました。

ところが、井戸からお家に帰ってＴ電ソフトウェアに勤めているお友達の犬子さんにお話すると、「ＭＳＸとはまた、えらいもんを…」と言われてしまいました。パソコンのことをよく知らないカエルくんは◸そうなのかぁ？でもたぶん大丈夫じゃない？おにいさんには『すぐ使えるようになるっ』って断言されたし…。⊿と気楽なものです。

…それから数カ月のあいだ、ＭＳＸな世界を見てきて、カエルくんはカエルくんなりに理解しました。

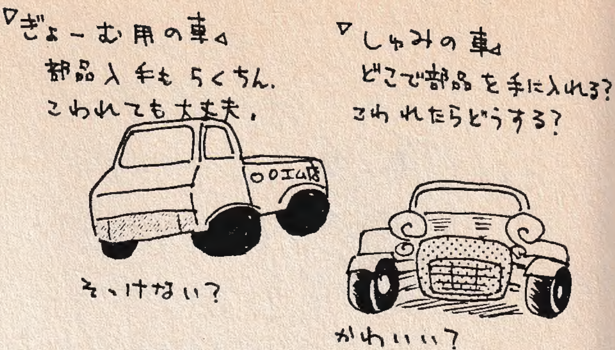
◸ＭＳＸって（世間から見たら）クラシックカーみたいなもの？⊿

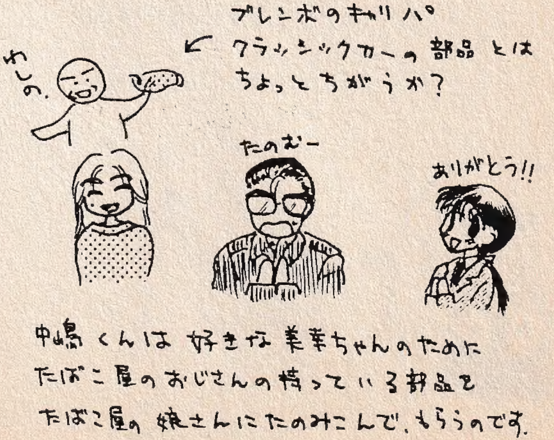
と。

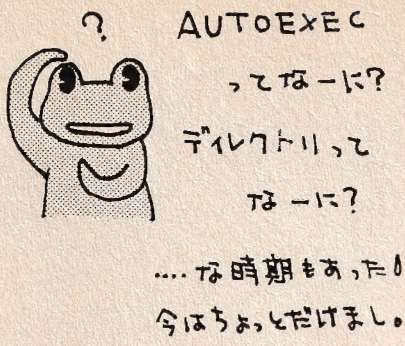
◸世間から見たら、古くて、部品や付属品や周辺機器をもうほとんど売ってなくって…。なんだか、『逮捕しちゃうぞ』とかに出てきそうな部品入手が難しい車やバイクに似てるなぁ。昨今のパソコンみたいに『業務用』なパソコンじゃなくって、『趣味』で使うパソコンってとこも趣味で乗るクラシックカーに似てるなぁ…◿
と、カエルくんは思いました。

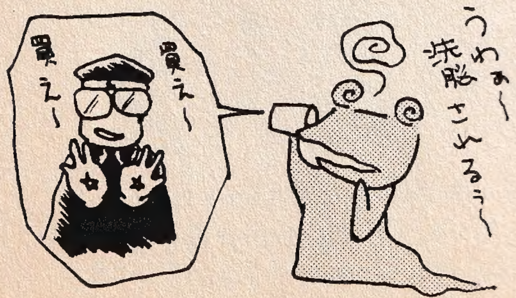
※カエルくんなりの解釈なんで、当たっているとは限らないぞ♪
でも、コレクターが多いってとこも似てるかも。

あれ、そういえば『逮捕…』では中嶋くんが苦労して部品入手してたよね？じゃあ、カエルくんはどうやってＭＳＸの部品などを手に入れたらいいんだろう？さて、困った。
どうする、カエルくん。









第1章　〜洗脳〜

カエルくんは以前からＭＳＸなところで似非職人工房というハードウェアを作成している同人の広告を見たりお話をきいていました。

その似非職人工房が作っている、ＭＳＸ界で有名な製品がＭＥＧＡ－ＳＣＳＩです。いわゆるＳＣＳＩです。これがあるとハードディスクがつなげたり、ＭＯがつなげたり…今までのＭＳＸにとっては夢のような話です。

ＭＥＧＡ－ＳＣＳＩはカエルくんにとっては〽ふーん、そうなのか〼という存在のものでした。〽ぼくなんてペーペーのＭＳＸユーザーだし、なくってもまぁやっていけるし、なくも別にいいやぁ〼と思っていました。

MEGA－SCSI自体をカエルくんは見たことはありました。おにいさんがハードディスクやMOをつないで利用していました。MMっていうファイルメンテツールも使っていてとっても快適そうでした。

おにいさんは「（MEGA－SCSIを）買え～、買え～」と呪文のようにカエルくんによく言っていましたが、カエルくんにはおにいさんみたいにうまく使う自信がありませんでした。

ある日、カエルくんはMSXな人達が集まって来ている大阪のイベント、MSXキャンバスに行きました。
カエルくんはなぜか☆さんたちと腕や指をへんなふうに曲げて遊んでいました。
カエルくん、なんだかMSXと全然関係ないことして遊んでるねぇ♪

カエルくんが
似非職人工房について
知ってるいくつかのこと…
（97年2月現在）

・学生さん2人でやってる同人サークル。
・ハードを作ってる。
・2人はよく、外国へ行く。
（海外のMSX事情を知るため？）
・知りあいが多い。
・パソ通やってる。
・あやしい
（いいイミで）
・…他
妄想含む…





イベントには東京から似非職人工房のＴ川くんとＴ郎くんが来ていました。この人たち、北は北海道から、南は大阪まで、果ては海外までいっちゃうのがすごいよね♪

カエルくんはＴ川くんになぜかＭＥＧＡ－ＳＣＳＩの取扱説明書をもらってしまいました。カエルくんはよく人からものをもらいますが、きっと物欲しそうな顔をしているんでしょう？



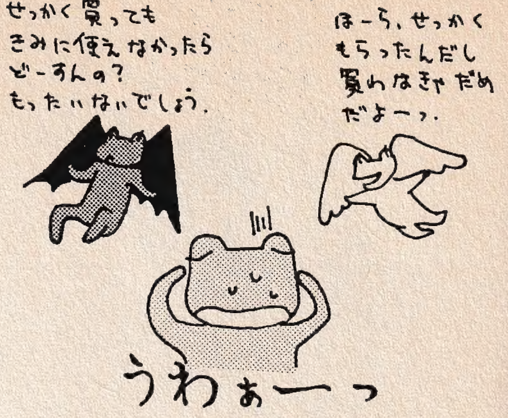


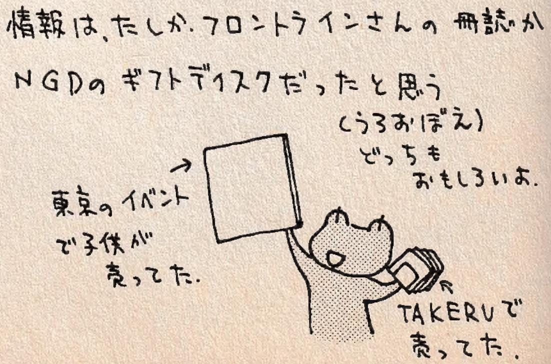
第２章　～決意～

お家に帰ってから説明書を見てみました。◸どうしようかなぁ？せっかくもらったんだし、どうしよう？ひかれるなぁ。でも、こまったなぁ…◿

そんなこんなで、数カ月たちました。その間にカエルくんの気持ちは◸ＭＥＧＡ－ＳＣＳＩ買おうかなぁ◿、◸でも、自分につかえるかなぁ◿のあいだを行ったり来たりしていました。

そんなおり、似非職人工房さんがＲＳ－２３２Ｃや４ＭＲＡＭを出すっていう話を聞きました。カエルくんはＲＳ－２３２Ｃが出ると聞いて驚きました。ＲＳ－２３２Ｃにモデム





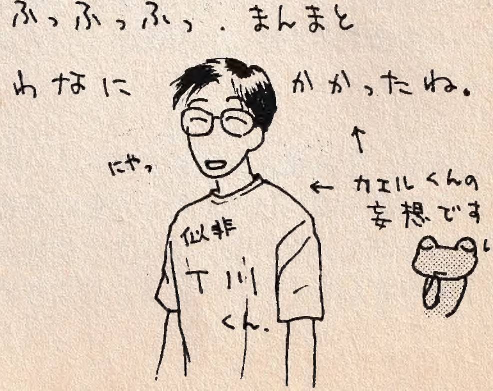


をつなげばＭＳＸでもパソコン通信が可能になるからです。

カエルくんの頭の中で

> パソ通できる⇨容量の大きいデータを動かす⇨ハードディスクが必要かも⇨ＭＥＧＡ－ＳＣＳＩが必要かも…

の図式ができてしまいました。これはもう、買うしかありません。



第3章　～求め～

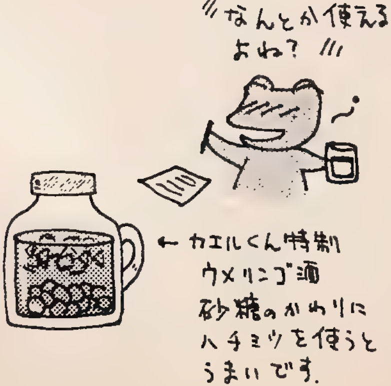
その時期、カエルくんは私事で忙しくって注文しようしようと思いつつなかなかできませんでした。でもぐずぐずしていてはまた、気持ちの波が◸でも、自分に使えるかなぁ⊿状態になってしまいます。急げ！！カエルくん！！

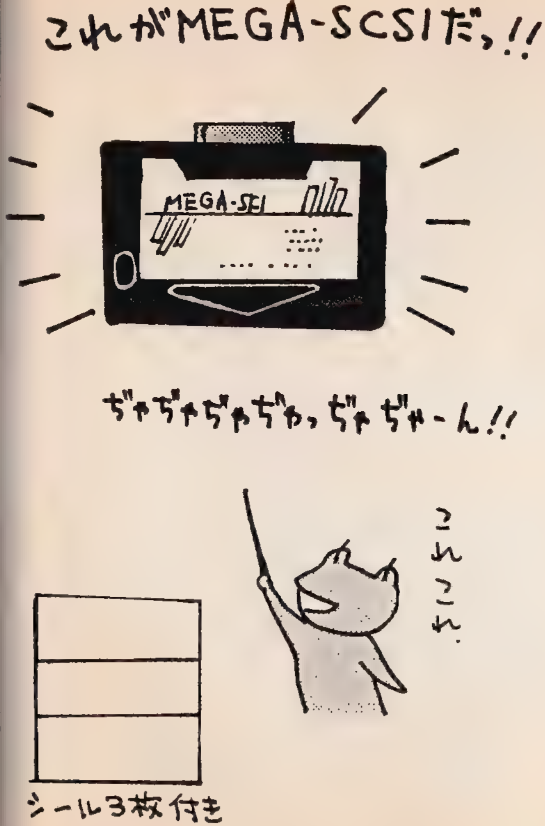
でも、その波がやってくる直前のある日カエルくんくんはお酒を飲んでしまいました。なかなかご機嫌です。カエルくんは、◸ＭＥＧＡ－ＳＣＳＩの申込用紙ってどこだっけ？⊿◸あ、あった、あった⊿、◸よーし、書いちゃえ⊿と書いて次の日に出してしまいました。酔っぱらいの書いた字なのでさぞ汚かったことでしょう。

具体的にナニをしていたかは
ナ・イ・シ・ョ



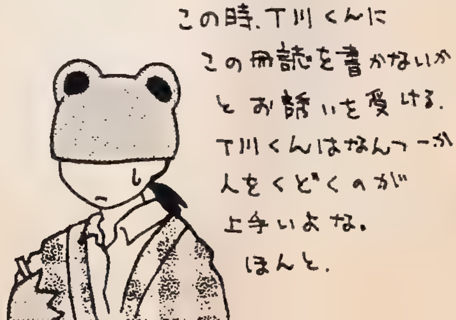
実はぬいぐるみ作って
遊んでた…





数日して振込用紙が届きました。早いですね。カエルくんも勢いに流されてできるだけ早めにお金を振り込みました。カエルくんはなぜか、T川くんが卒業研究関係のことで忙しいらしいとの噂を聞いていたので、通信欄に▽急がなくてもいいです⊿といった旨のことを書きました。実はカエルくん自身も忙しい時期だったからすぐ来たら困ると思ったからです。でもすぐに来ちゃったよ。どうする♪まだ、以前もらった説明書ちゃんと読んでいないぞ。カエルくん大丈夫？

ほんとに学生さんがやってる同人とは思えません。対応が早いです。

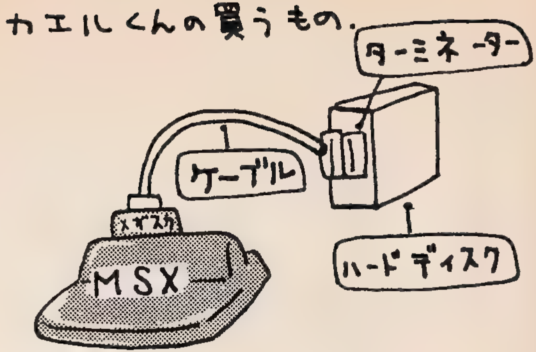


第４章　～彷徨～

ＭＥＧＡ－ＳＣＳＩが来たけど、つなぐものがなくっちゃなんにもなりません。
カエルくんはハードディスクをつなぐことにしていたので隣のＫ市にある大きい電気店に行くことにしました。ちょうど、ボーナスが出たばかりです。それに今日はなぜか職場が中休みで平日なのにお休みです。さぁ、街へくりだそう。

でもその前に説明書をよく読んで、ハードディスク本体とターミネーターとＳＣＳＩケーブルが必要だってことを覚えてメモします。

でも、自分ではよくわからなくて不安なので、経験者のおにいさんに聞いてみます。おにい





MSXって、2DDしか使えんのだけどな。
2DDって720kバイトしか入らんでしょう？
1ギガバイトって720kバイト（フロッピー1枚）の何倍だ？
1,000,000k÷720k=1388.88…
そんなにフロッピー持ってるか？
持ってないでしょお？なら、大きいのいらんでしょお？
わかったか？
あ？





さんによると、ハードディスクは「なんでもええ」らしいです。容量がでかすぎても困るだろうから８５０Mぐらいでよかろうってことです。ケーブルやターミネーターは最近のはいっしょについてるのがほとんどだから買わなくてもいいかもしれないそうです。

◸ふーん、たぶん、なんとなくわかったから、いってきまーす。あ、いちおうMEGA－SCSIと説明書を持っていこうっと。◿



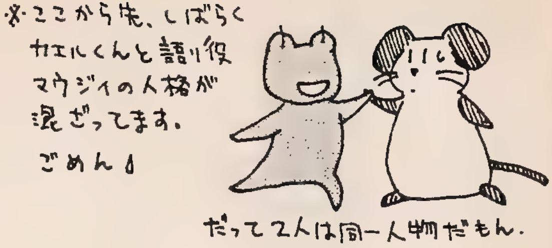


第5章　～戦い～

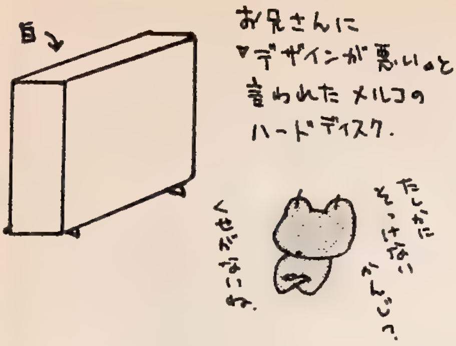
電気屋さんにつきました。早めについたのでまだ開いてません。車のなかで説明書のチェックをもう一度。

開いたぞ、よっしゃ、突撃！！でも、実は消耗品以外のパソコン用品を買うのが始めてなので腰がひけてるぞ。

さて、ハードディスクを物色だ。えーっと、２Ｇ、１．２Ｇ、１Ｇ…あれ、大きすぎるよ♪困ったなぁ♪店員①に聞いてみよう。「もう少し小さい容量のハードディスクはないんですか？」「最近は小さいのはもう出てないんですよ」ガーン。もういいや、この中から選ぼうっと。









※カエルくんの住んでいるのは地方なので中古で買うことは不可能に近いです。

えーっと、一番安いのは？あ、1．２Gのこれだ。でも、ケーブルは付いてるけどターミネーターは付いてないね。１Gのほうが１万円くらい高いなぁ、でも、ターミネーターのこと考えてもこっちの1．２Gのほうが安いかなぁ？こっちにしようっと。ターミネーターはどれを買ったらいいかよくわからないからハードディスクの説明書見てから買おう。

「すいません。これお願いします」
店員①「えーっと、ＳＣＳＩとターミネーターついてないやつなんですど、何につながれますか？」
しまった、カエルくん、ピーンチ。どうする。ＭＳＸって答えるのか、答えてわかってもらえるのか？？？

「・・・ MSXです・・・」

店員①「…ＭＳＸですか…💧ＭＳＸにはこれはつなげないと思うんですけど…」
「あの、大丈夫です。知人が９８とかにつなげるやつならなんでも大丈夫って言ってましたから…」
ここらへんカエルくんが素になってますが、しかたないですね。
店員①「その人が何を使ってるかわかればいいんですけど」
今、おにいさんは仕事に行ってるので聞けないよ💧ゔー💧💧💧
カエルくんの、説明のためにＭＥＧＡ－ＳＣＳＩ本体と説明書を店員①に見せるんだっ！
「あの、これにも特に何がつなげないとか書いてないですし、大丈夫だと思うんですけど…」
店員①が困って説明書をぱらぱらめくっているぞ。
店員①「あの、推奨機種とか載ってればいいんですけど、載ってないですねぇ。ここの連



素のカエルくん

推奨機種って… どうする?







絡先が載ってれば電話で連絡できるんですけど…」
残念ながら両方とも載っていない。
⇨⇨⇨似非職人工房さん。いつか嘘でもいいから推奨機種を書いておいてください。お願いします。
店員①「あの、ちょっとお待ちください」
げっ、どうやらさらに偉い人を呼んでくるらしいぞ。カエルくん、さらにピーンチっ！！
やっぱり、さらに年上のおじさん店員②が来たぞ。げっ、説明書をぱらぱら見てるぞ。
「このハードディスクはＭＳＸには使えませんっ！！」　ぐわぁっ、きっぱりと言い切ったぞ、このおじさん店員②💧負けるなっ、カエルくん！！
「もし、使えなかったら知人に売りますから大丈夫ですっ！！」あ、店員困ってるよ💧
しばし、おしだまる３人。カエルくんはこのときはすねてふてた子供状態。店側から見たらかなり困った客であろう。

「あの、…買います から…」

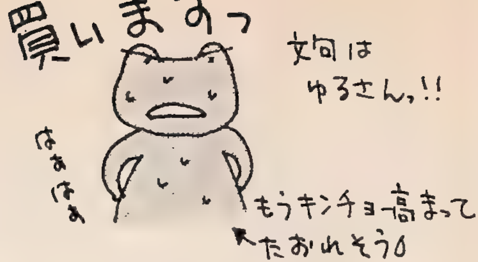
---断言

カエルくん、勝利をおさめる。でも、なんだかすっきりしない後味の悪い勝利だ。

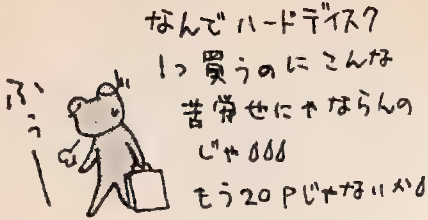
もし、カエルくんがいーかーにーもっ、パソコンをやってそうなバリバリですって感じの風貌だったらこんなにもめたりしなかったのでは？こなみ詔子さんのマンガで『大型電気店の店員が人を見てパソコンを売る』というようなことを書いてありましたが…そのマンガほどではないと思うけど、そういう「人を見て判断する」とこがあるかもしれませんね？まぁ、店員さんは親切で言ってくれたのかしれないが？

カエルくんはこのあと、〼そういう風貌の人になりたいっ⊿と、せつに思いました。とさっ。

単にＭＳＸって言わなきゃよかったのか？



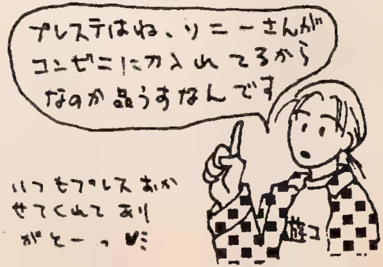






第6章　～休息～

とーりあえずぅー、車にもどってMEGA－SCSIとハードディスクをつないでみる。おっけー、つなげるつなげる。大丈夫だね。あとはターミネーターを買わなきゃ。でも、また店内にもどってどのターミネーターがあうのか店員に聞くのが嫌なので他の店へ行ってみよう。K市では見つからなかったプレイステーョンを探さねばならないしね。カエルくん、がんばれ、もうちょっとだ。



第７章　～信頼～

Ｏ市に行く途中の道端の電気店に寄ってみよう。あ、さっきの電気店よりターミネーターの品ぞろえが少ない。大丈夫かな？えーっと、Ｄ－Ｓｕｂハーフピッチ５０ピン用凸？
これかな？たぶんこれだよね？ゲーム売り場の店員③にハードディスクのマニュアル見せて聞いてみよう。
店員③「あ、これでだいじょうぶですよ。でも、これは会計が下の階になるんで下でお願いします。」
はーい、じゃ、下へ行こうっと。
支払いするときになんの気なしに「これでいいですよね？」と聞いてみたら、店員④のおじさんはちょっと困って「上で確かめてきます」と行ってしまった。え、そんな、「大丈

想像



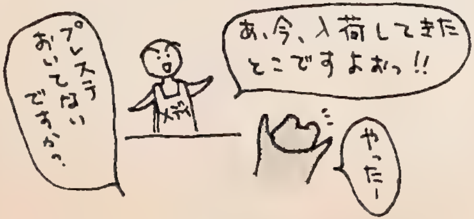
現実











夫です」って返事が返ってくると思ったのにぃー♪
けっこう待って不安になったら店員④のおじさんが降りてきて出してくれたのはさっきのと違うやつだよ？でも、わざわざ見てきてくれたんだからこれでいいんだよね？

支払い済ませて車のなかでつけてみよう。あれ？はまらないよ♪あ、これってよくわかんないけどたぶん凸・凹が違うみたいだ♪
もう１回入って、返品して、もとのを買ってはめてみたらおっけー♡ばっちしスムースインだ。よかった。よかった。これでお家に帰れるね。カエルくん。
あ、まだプレイステーション買ってないぞ♪

Ｏ市にて入荷したてのほやほやのプレイステーヨンを買ったぞ。さぁ、お家へ帰ろう。

第8章　～罰と涙～

おうちに着いたよ。さあ、マニュアルと首っぴきでやってみよう。

1．あ、付属ディスクはコピーして使わなきゃだめだよね。もとが壊れちゃったら困るもんね。基本。基本。えーっと、COPY COTでまるごとコピーしちゃえ。
あ、カエルくんっ。何も考えないでそんなことをーっ。あとで困っても知らないよ。

2．とりあえずMSX・MEGA－SCSI・ケーブル・ハードディスクをつないでみる。ID番号も設定しておっけー。

3．で、付属ディスクに入ってるファイルか

COピ～　CAT　とはなんですか?

・ディスクをフォーマットしたり

・こわれてないかチェックしたり、

・ディスクの中のファイルじゃなく、
ディスクそのものをコピーするものです。

(多少のプロテクトはムシして
コピーできるものです。
カエルくんのもらったCOP－CATは古いやつらしく、『スーパーコピー』はできない)







ら、MSX－DOSカーネルのROMイメージファイルを作るんだね。えーっと、説明書どうりにやって、うん、できた。

4．で、これをMEGA－SCSIのSRAMに入れるんだね。よし、説明書どうりにやって、あ、あ、あれ？なにこれ？
なんだか　『スロットの番号が違います』という意味合いの英語が表示されてるよ。
なんでなんでぇーっ。

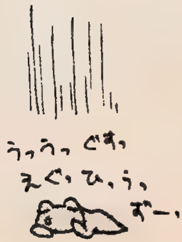
確認だ。えーっと、スロットは合ってるよ。ハードディスクとかもおっけー、MEGA－SCSI切りはなしスイッチも最初は押して、後で離してるし。えー、なんで、なんでー♪マニュアル読んでもわかんないよーっ。

やっぱりこのハードディスクじゃ使えなかったのかなぁ♪あんなにして買ったのに…どうしよう。電気屋さんの言うこと聞かなかった

からバチが当たったんだーっ。あーんっ

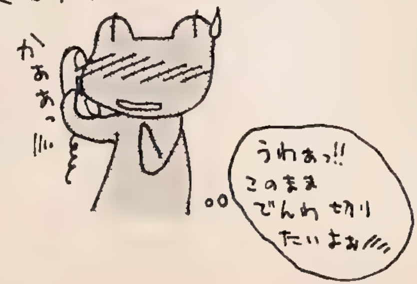
うっ、うっ、えぐっ、どうしよう、ううっ。
そうだ、おにいさんに聞いてみよう。あ、でも平日だからおにいさんはまだお仕事中だよ。
ううっ、とりあえず留守伝入れとこう。

もう何回かインストールしてみよう。
…やっぱりだめだ ううっ、えぐっ、ひっ、
うう、おにいさん早く帰ってこないかなぁ。





自分の単紙ミスが原因だと
わかったとき、あなたは
恥しさで死にそうになりませんか?



第9章　～救世主～

あ、電話だ、おにいさんだぁっっっ！！
「はいっ、○○です。あ、あのね、ＭＥＧＡ－ＳＣＳＩがうまくいかない♪」
「どこの段階をしょーるかわからん」
「えーっと、○ページのとこっ」

……

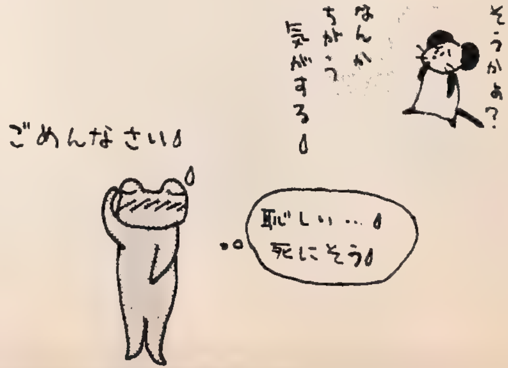
しばらくおにいさんに言われたことを確認するけど、うまくいかないよう♪
「ロムのファイルの大きさはなんぼになっとる？えーっと、こっちにあったかなぁ、（カタカタカタ）６……」
「え、うそ、こっち１……だよ、大きさ全然違うよ。こっちのが小さいよ」…ヴぁ♪♪

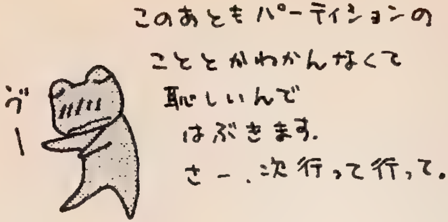
ほらみなさい、カエルくん何も考えずにディスクをまるごとコピーしたからです。ばーかばーか。
付属ディスクには基本的機能のファイルの他の機能のファイルもいっぱい入ってて、ぎゅうぎゅう詰めなんだよ。残り容量はちょっとしかないんだよ。フツーはディスクに基本機能だけコピーして、そこでロムのイメージファイルを作って使うんだよ。それをカエルくんは容量の少ないとこにロムのイメージファイルを作ろうとしたから不完全なものしかできなかったんだよ。もー、それくらいちゃんと気づかなきゃ

「わかったからいいもん」？？もー、カエルくん、おにいさんに助けてもらっておにいさんの時間を使っておいてそれはないでしょうちゃんと反省しなさい。わかった？
「あい」



カエルくんがしたことは、9.5人インド人が入れる箱に10人のインド人を入れようとしてしまったのと同じことなんだね？



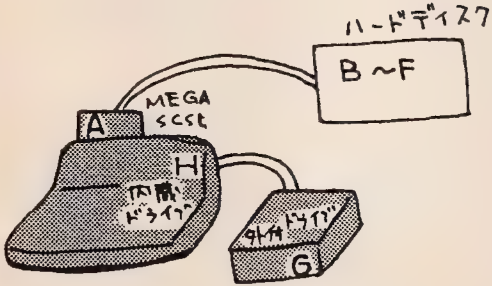


てなわけで、おにいさんに助けてもらってなんとかハードディスクが使えるようになりました。いやー、おにいさん、『いちにのさんすう』のよしにいさんより頼りになるよ。

はい、じゃあ、次へ進もう。

パーティション区切って、それからドライブ割り当てて、仮想ドライブ削って…
A：SRAM、B～F：ハードディスク
H：内蔵ドライブ、G：外付けドライブ
忘れないようにアルファベットのシールをはっておこう。これでおっけー。

こんなかんじー.





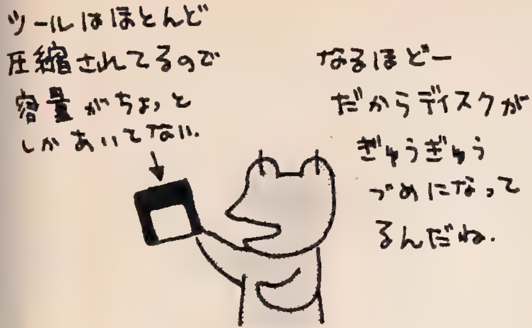
第１０章～隣人～

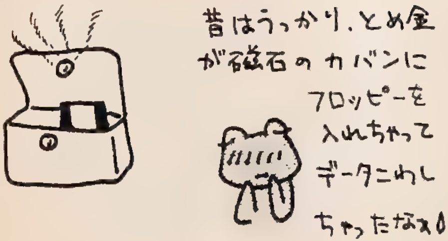
さて、カエルくんはＭＥＧＡ－ＳＣＳＩにハードディスクをつなぐっていうフツーの使い方しかしていませんが、他のＭＥＧＡ－ＳＣＳＩを使ってる人はどうなんでしょう？
ちょっとのぞいてみましょう。まずは手近なところからお兄さんちへおじゃましまーす。



コンコン。カエルくんだよ。入れてぇー。
ＭＥＧＡ－ＳＣＳＩ見せてくださーい。おにいさんは今はハードディスクとＭＯをつないでるんだね。最初は両方つないでたけど、途中、ＭＯのほうが調子悪くなってしばらく使ってなかったよね。なんで再度、使いはじめたの？







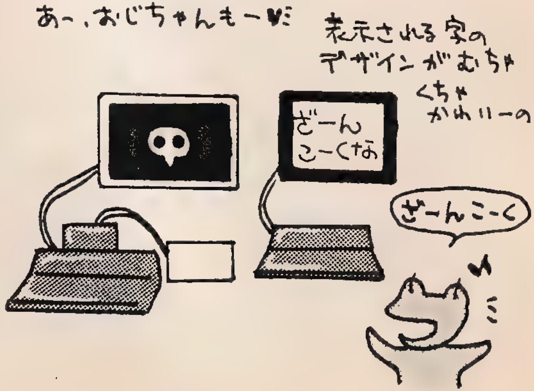
ＭＥＧＡ－ＳＣＳＩの附属ディスクのツールがバージョンアップされてからＭＯに不都合が起きなくなって、それで再度使いはじめたんだぁ。あ、そういえば、ＭＥＧＡ－ＳＣＳＩ使ってる人から似非職人工房に自作ツールとか送られてきたりするって話だよね。おもしろいねー。バージョンアップされたり、いろんなツールが増えると附属ディスクの新しいのと最新情報が送られてくるんだよね。

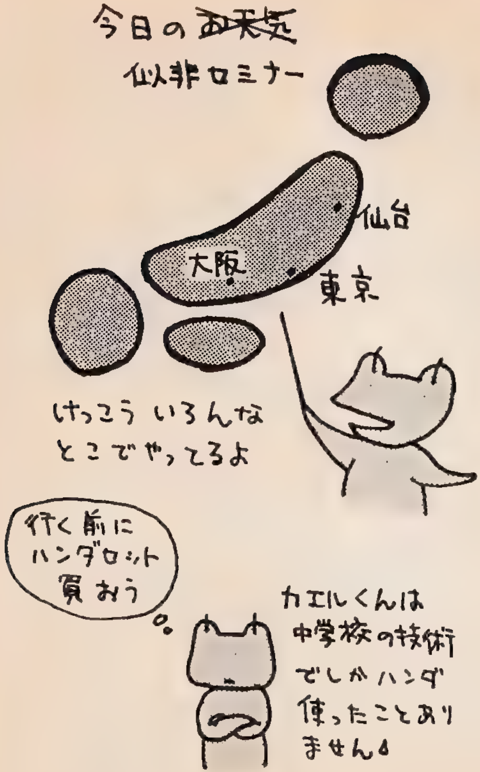
ねぇ、ねぇ、ところでやっぱり、ＭＯってあったほうがいいの？ＭＯある生活に慣れちゃうとフロッピーじゃものたりなくなっちゃうの？
あ、おにいさんの場合はハードディスクの中が壊れちゃったときのために、ＭＯ使うんだぁ。ふーん。そっかぁ。おにいさんデータ多いもんねー。フロッピーのデータも壊れちゃうときあるし、やっぱりＭＯで保存しておくのが安全なんだね。なるほどぉ。

おにいさん、それではどうもご協力ありがとう。あ、あと、ＭＥＧＡ－ＳＣＳＩの他の使い方って何があるんだっけ？スキャナも使えるようになったんだよね。
あ、そういえば有名なのはイベントでやってるアレだよね。あ、おにいさん見たことある？あのね、デジタイザでとった画像をハードディスクを利用してアニメーションにするやつだよ。しかも、アニメーションが例のアニメのオープニングなんだよね。うひょー。うれしー♡
あれでさぁ、ある人製作のカラオケシステムで例のアニメのオープニング曲をいっしょに流して歌ったら楽しいだろうねぇ？

気がついたら、ＭＥＧＡ－ＳＣＳＩに限らずＭＳＸってけっこういろいろできておもしろいね。自分はいろいろできないけど、いろんなことができる人がいて、そういうのを見るのも、なんか、おもしろいねぇ。







第１１章～癒し～

さて、自分でもいろいろできるようになってみようって集まりをＧＩＧＡＭＩＸさん主催でやってるらしいぞ。カエルくんは行ったことないけど。どんなんでしょう？
『似非セミナー』という、知らない人が聞いたらヤバイ？名称ですが、やってることはそんなにヤバクないみたいだね。なにをするのかな？ＭＥＧＡ－ＳＣＳＩにも使われてる似非ＲＡＭを作るんだね。けっこう少人数でやるらしいね。確かに大人数でやったらパニックになりそうだね♪
初心者にもちゃんとできるかなぁ？あ、東京などではＴ川くんやＴ郎くんが教えてくれるらしいぞ。だったら、安心だね。

似非ＲＡＭを作るほかにも、ＭＳＸの直し方やいろんなことを教えてくれるらしいぞ。
まるで、病院というより田舎の診療所みたいだね。大きい病院だと、流れ作業でお医者の言われるままにして、自分の体がどうなってるのか、なにがなんだかよくわからないよね。
でも、『似非セミナー』だと自分のＭＳＸがどうなってるかよくわかって、自分でも直すことができるようになったりして…それって、田舎の気心の知れた診療所に行ってるみたいだね。待合室でたむろしてお話してる人もいるしね。
他にも、終わったあとにもんじゃやき食べに行ったり、なんだかかんだか…。

きっと、ＭＳＸをよく知らない人から見たらクラシックカーの小さなお店に集まってる人達みたいなのかもね？モノを好きな人が集まって、いっしょにモノをつついて…。

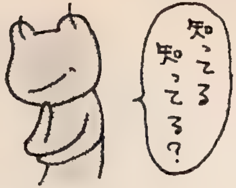


カエルくんは自分のMSXの中は1度しか見たことありません。しかも人にあけてもらった。
キーの下のバネはPAUSEキーだけ茶色（強い）けど、つけるときまちがってDelキーがかたいカエルくんのMSX





『うっかりくん』のシールはとてつもなくスバラしいです。ふふっ。



おやじのおーっ!!

それに時代は今、おやじなのよ。知ってた?

by 大阪な人々



第12章～未来～

これからは何ができるようになるのかなぁ?いまのところ似非職人工房さんからはメモリ（4MRAM）と、RS－232Cが出たんだよね。名前はなんだっけ?メモリのほうが『うっかりくん』で、RS－232Cが『はるかぜ』だっけ?FRONTLINEさんから増設スロットも出たしね。

カエルくんはこれからどうしようかな?ガツガツMSXって性分でもないし、きっと、好きなときに好きなだけ（気が向かないときはつつかない）、たらたらとMSXをやっていくのかな?
それって、お休みの日に田舎でピカピカのバイクに乗ってる集団のおっちゃんみたいに楽

しいかな？おっちゃんたちのクラシックなバイクってカエルくんから見たらなんだか、よくわからないけど、でもおっちゃんたちは楽しそう。
おっちゃんたちは普段いろんなお仕事してて、家族がいて、子どもがいて、生活があって…でもお休みの日には好きなモノつついて遊んでるよね。それっていいよね。なんかいいよねぇ。



カエルくんのこれからは…、フツーのおとぎばなしみたいに超ハッピー、スーパー大団円じゃないかもしれないね。

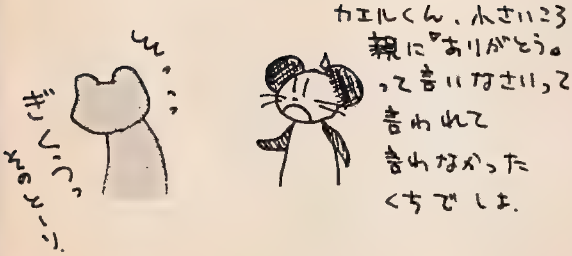
でも、きっとシメのことばはお決まりの…

『いつまでもしあわせにくらしましたとさ』

だったらいいなぁ。ねぇ。







終章～おかげ～

林家ぺーも目じゃないほどぺーぺーなカエルくんがＭＥＧＡ－ＳＣＳＩを使えるようになってしまいました。おどろいたよ。いいのかなぁ？もちろんカエルくん一人の力じゃないのはわかってるよね？カエルくん？

「あい♪」

カエルくんにＭＥＧＡ－ＳＣＳＩやＲＳ－２３２Ｃの情報を流してくれた人達や、説明書くれたＴ川くん、いつも助けてくれてるおにいさんやいろんな人たちのおかげだよね。はい、わかってたらちゃんとお礼言わなきゃ。

「う、あのね、自分でちゃんとありがたいって思ってるから、他人に命令されなくても自分でちゃんとお礼いうんだからほっといてよ、もーっ」

はい、それでは、どうぞ

ほんとにみんな
だいすきです.



みなさん

ほんとに

ありがとーっ

ここまでおつきあい いただき
ありがとう ございました.



この物語はフィクション（妄想）であり、実際の人物・団体とはたぶん関係ありません。

関係はないはずなんだけれども、登場人物のモデルになった人達へ…

Ｔ川くん、Ｔ郎くん、おにいさん、犬子さん、☆さん、カラオケシステム作者さん…他

それから（ここには出てこない人も含めて）ＭＳＸでカエルくんと遊んでくれる人達…

当たり前だけど、自分一人だったらＭＳＸをやってないと思います。

落ち込むこともあるけど、みなさんが居てくれるから復活してＭＳＸやってます。

おにいさんを始め、いろんなみなさんが居るからＭＳＸで楽しく幸せに遊んでいます。

みなさん居てくれてほんとうにありがとうございます。みんなほんとに大好きです。

キスのかわりにらりらりら♡

奥付

MEGA−SCSI童話　カエルくん

1997年8月15日　初版第一刷発行

著者：マウジィ

発行人：辻川和広

発行所：似非職人書房
〒361　埼玉県行田市持田2420
持田寮213号室

印刷所：大陽出版株式会社


似非